



郡山市指定重要文化財を指定しました

～佐文山書 田村神社扁額二面と

田村神社御神刀（伊達吉村奉納）～



ターゲット 11.4

2024年5月13日

郡山市文化スポーツ部

文化振興課

課長 鍋木 辰男

TEL：924-2668

SDGs ターゲット 11.4 「世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。」

郡山市文化財保護審議会の答申を受け、令和6年4月教育委員会定例会の議決に基づき、次の2つを郡山市指定重要文化財に指定しました。

さぶんざんしよ たむらじんじゃへんがくにめん
1 佐文山書 田村神社扁額二面

- (1) 種類 重要有形文化財（書跡）
- (2) 所在地 郡山市田村町山中字本郷 135（田村神社内）
- (3) 概要 「大元帥」縦 76 cm×横 150 cm 本社殿に掲示
「鎮守山」縦 82 cm×横 145 cm 山門に掲示
ともに木製扁額（材質不明）、奉納者不明
- (4) 指定理由 佐文山は、江戸時代前期～中期初頭に活動した書家。この2つの扁額は少なくとも1717（享保2）年には田村神社に奉納されたもので、佐文山の筆の特徴があり、郡山市にとって貴重な文化財である。



たむらじんじゃごしんとう だてよしむらほうのう
2 田村神社御神刀（伊達吉村奉納）

- (1) 種類 重要有形文化財（工芸品）
- (2) 所在地 同上
- (3) 概要 太刀 銘 奥州仙台住国次
長さ 91.3 cm、反り 3.9 cm、莖長 25.9 cm
1718（享保3）年、仙台藩5代藩主伊達吉村により田村神社に奉納された。
- (4) 指定理由 長さ 90 cmを超える長寸の太刀で、反り深く堂々たる姿を示した雄渾な一振であり、鞘書の「雄剣」の名にふさわしい優れた作品。仙台藩の御刀鍛冶の作とみられ、伊達吉村の田村神社に対する崇敬を伝える重要な宝物であり、郡山市にとって貴重な文化財である。



（参考：郡山市内の文化財：<http://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/43/6978.html>）



2024（令和6）年に郡山市は市制施行100周年を迎えます!!

ひらけ 未来へ こおりやま